

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 86

令和8年3月9日発行 袋井市幼児教育センター



四季折々の伝統行事を楽しむ



長い歴史の中で育んできた文化や伝統に触れる行事は、子どもたちの体験に豊かさを加えます。園では四季折々の行事を子どもと共に創りながら、そのいわれやそこに込められている願いなどに興味、関心をもたせています。

子どもたちは行事の楽しさだけでなく、季節の変化に気付いたり、伝統を守る大切さを学んだりします。さらに、家族や地域の人々と一緒に楽しむことにより、心に残る豊かな体験につながります。



正月

新年を祝う行事です。風揚げに期待を持って作ります。



節分

「鬼は外、福は内」と大きな声を出して鬼を追い出します。家内安全を願う行事です。



菱餅を積み上げるゲーム

子どもたちの心を潤す行事を大切に
した保育を進める

雛祭り

様々な材料を使って雛人形を作ります。女の子の健やかな成長と幸せを願う行事「桃の節句」です。



先生たちの出し物で会が盛り上がります。



幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。袋井市教育委員会 幼児教育センター TEL:86-3330



写真掲載園 たんぽぽ第二保育園
明和第一保育園・笠原こども園